

[1 RAAS Client](#)

[1.1 インストール](#)

[1.1.1 詳細設定](#)

[1.2 RAAS Server Configuration](#)

[1.2.1 一般事項](#)

[1.2.2 リモートショートカット](#)

[1.2.3 視覚化](#)

[1.2.4 ファイルエクスプローラー拡張機能](#)

[1.3 RAAS Client](#)

[1.4 RAAS Client ファイルエクスプローラー拡張機能](#)

[1.5 RAAS Client Remote Desktop](#)

[1.6 Search & Run](#)

[2 RAAS Server](#)

[2.1 インストール](#)

[2.1.1 詳細設定](#)

[2.2 推奨されるWindows構成](#)

[2.3 Search & Run](#)

[3 バージョン管理](#)

[4 サポート](#)

[4.1 よくある問題](#)

1 RAAS Client

RAAS は次の 2 つのコンポーネントに基づいて構築されます。RAAS Client そして RAAS Server. サーバーやホストコンピュータを制御するために、RAAS Server クライアント側でホストコンピュータを設定する前に、ホストコンピュータにインストールする必要があります。RAAS Client アプリケーション。このセクションでは、インストール、設定、使用方法について説明します。RAAS Client。

1.1 インストール

RAAS Client RAASClient_[version]_x64.msi ファイルをダウンロードし、対象のコンピュータで実行することでインストールできます。デフォルトのインストールで十分な場合は、ライセンス契約に同意してインストールを実行するだけで済みます。

システム要件: Windows 10、11 Pro、Enterprise の 64 ビット バージョンをサポートします。.NET Framework 4.8 が必要です。

1.1.1 詳細設定

デフォルトのインストールが不十分な場合は、インストール時に「詳細」ボタンをクリックしてカスタマイズできます。最初のセクションには、マシンレベルでインストールするオプション（すべてのユーザーがアクセス可能）と、ユーザーレベルでインストールするオプション（現在のユーザーのみがアクセス可能）があります。「次へ」をクリックすると、機能メニューが表示されます。このセクションでは、インターフェースで機能を有効または無効にすることで、インス

トールする機能を選択できます。機能を選択すると、コントロールを含むボックスの下に表示されます。

アドバイス： RAAS Client 通知アイコンを右クリックすることで操作できます。タスクバーに通知アイコンを常に表示するには、タスクバーの隠れたアイコンを表示をクリックしてドラッグします。RAAS Client アイコンを表示されているアイコン領域に追加します。

1.2 RAAS Server Configuration

RAAS Server Configuration スタートメニューからファイルエクスプローラーでサーバーを右クリックし、「RAAS Server Configurationまたは右クリックして RAAS Client システムトレイのアイコンをクリックし、「RAAS Server Configurationルートメニューまたはいずれかのサーバーメニューで「」をクリックします。これは、各サーバーに適用する設定を構成するために使用されます。

- サーバー リスト ボックスでサーバーを選択し、特定のサーバーの設定を変更できます。
- サーバーを追加するには、「追加...」 ボタンをクリックし、サーバー名またはサーバー IP を入力して、「追加」 ボタンをクリックします。
- サーバーを削除するには、削除するサーバーを選択し、「削除」 ボタンをクリックします。

構成はタブに整理されており、各タブで利用できる設定は次のセクションで説明します。

1.2.1 一般事項

- **サーバーを有効化:** サーバーをアクティブにし、すべてのサーバー設定を適用します。すべての設定が完了するまで、サーバーをアクティブにしないでください。

設定：

- **エイリアス:** サーバーが持つべきエイリアスを決定します。 RAAS Client インターフェース。
- **アカウント:** サーバーとの通信に使用する Windows アカウントを決定します。
- **パスワード:** サーバーとの通信に使用する Windows アカウントのパスワードを決定します。
- **ドメイン:** サーバーとの通信に使用する Windows アカウントのドメインを決定します。
- **RDP 認証:** RDP プロトコルを使用して RemoteApp 経由でサーバーに接続するときに使用する認証ルールを決定します。
- **自動再接続:** ロック、スリープ、休止状態などの前に RemoteApp に接続されていた場合に、自動的に再接続するかどうかを決定します。
- **スタートアップ プログラムの自動起動:** サーバーの起動時に自動的に起動するように構成されているアプリケーションを、最初に接続したときに RemoteApp を通じて自動的に起動するかどうかを決定します。
- **キープ アライブ エージェント:** アプリケーションが開かれていないときに接続が自動的に切断されるのを防ぐために、最初に接続するときにサーバー上の RemoteApp を通じてキープ アライブ エージェントを起動するかどうかを決定します。
- **クリップボードのリダイレクト:** クリップボードのリダイレクトをオンにするかオフにするかを決定します。
- **デバイスのリダイレクト:** デバイスをリダイレクトするかどうかを決定します。このオプションを使用するには、Microsoft が公開している追加設定を有効にする必要があります。
- **プリンターのリダイレクト:** プリンターのリダイレクトをオンにするかオフにするかを決定します。

- **通知を表示:** RemoteApp の接続時または切断時にユーザーにバールンヒント通知を表示するかどうかを指定します。通知を有効にするには、Windows の設定で通知を有効にする必要があります。

RAAS Server 繋がり：

- **ステータス:** サーバーの現在の通信状態に関する情報を表示します。「通信なし」は通信が存在しないことを示します。「通信可能」はサーバーにアクセスできることを示します。「利用可能」はサーバーとの通信が可能であることを示します。 RAAS Server サーバー上のサービスが存在し、「接続済み」であることは、サーバーが RemoteApp 経由で接続されていることを示します。
- **RAAS Serverバージョン:** この情報は、 RAAS Server サーバー上のサービスが存在し、インストールされているバージョンを示します RAAS Server サーバー上。
- **接続/再接続- ボタン:** RemoteApp を介してサーバーに接続または再接続するために使用されます。
- **切断ボタン:** サーバーを RemoteApp から切断するために使用します。

1.2.2 リモートショートカット

- **リモート ショートカットを有効にする:** リモート ショートカットをアクティブにして、すべてのリモート ショートカット設定を適用します。

リモートショートカット設定:

- **スタートメニューのショートカットを作成:** サーバー上のスタートメニューのショートカットをローカルコンピューターの現在のユーザーに転送し、RemoteApp 経由で起動できるようにするかどうかを指定します。ショートカットは、スタートメニュー内の専用フォルダーに [サーバーエイリアス] という名前で保存されます。
- **Windowsアプリのショートカットを作成:** サーバー上のWindowsアプリのショートカットを、ローカルコンピュータの現在のユーザーに転送し、RemoteApp経由で起動できるようにするかどうかを指定します。ショートカットは、スタートメニューの専用フォルダに[サーバーエイリアス]という名前で配置されます。インストール後にWindowsアプリのショートカットを転送するには、サーバーのショートカットの更新を選択する必要があります。 RAAS Client 通知領域。
- **デスクトップ ショートカットの作成:** サーバー上のデスクトップ ショートカットを、RemoteApp 経由で起動できるように、ローカル コンピューターの現在のユーザーに転送するかどうかを決定します。
- **デスクトップショートカットをデスクトップルートに配置する：** サーバーから転送されたデスクトップショートカットを、現在のユーザーのデスクトップルートに配置するかどうかを指定します。または、[サーバーエイリアス] という形式の名前を持つデスクトップ上の専用フォルダに配置します。
- **ショートカット名にサーバー エイリアスを追加:** サーバーから転送されるショートカットに、サーバー エイリアスが追加された名前を付けるかどうかを決定します。
- **ショートカット名のサーバー言語:** サーバーから転送されるショートカットに、サーバーにインストールされている言語に応じた名前を付けるかどうかを決定します。

1.2.3 視覚化

- **視覚化を有効にする:** 視覚化をアクティブにして、すべての視覚化設定を適用します。

視覚化設定:

- **メインカラー:** すべての視覚化に使用するメインカラーを決定します。
- **テキストの色:** すべての視覚化に使用されるテキストの色を決定します。
- **線の色:** すべての視覚化に使用される線の色を決定します。
- **フレーム:** サーバー上のアプリケーションのRemoteAppウィンドウにフレーム装飾を適用するかどうかを指定します。フレームは、サーバーに属するアプリケーションをユーザーに示すために使用できます。
- **接続バー:** サーバー上のアプリケーションのRemoteAppウィンドウがアクティブなときに接続バーを表示するかどうかを指定します。接続バーは、サーバー上のアプリケーションが入力を受け付けていることを示すために使用できます。
- **接続バーの不透明度:** 「接続バー」が設定されている場合、この設定によって接続バーの不透明度が決まります。

1.2.4 ファイルエクスプローラー拡張機能

- **ファイルエクスプローラー拡張機能で有効にする:** サーバーを RAAS Client ファイルエクスプローラーの拡張機能とすべての有効なものを適用します RAAS Client ファイル エクスプローラーの拡張機能の設定。

表示可能なフォルダー: これらのオプションを使用して、ファイル エクスプローラー拡張機能でサーバーに対して表示するユーザー フォルダーを決定します。

表示されるデバイスとドライブ: これらのオプションを使用して、ファイル エクスプローラー拡張機能でサーバーに対して表示するデバイスとドライブの種類を決定します。

1.3 RAAS Client

その RAAS Client アプリケーションはシステムトレイアイコンからアクセスできます。システムトレイのアイコンを右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。このセクションでは、このコンテキストメニューのメニュー項目について説明します。

- **リモートデスクトップ:** "RAAS Client Remote Desktop" サーバーが選択されていないアプリケーション。
- **RAAS Server Configuration:** 開く "RAAS Server Configuration" サーバーが選択されていないアプリケーション。
- **ヘルプ (pdf):** RAAS に関するヘルプが記載された PDF を開きます。
- **バージョン情報:** インストールされているソフトウェアに関する情報を表示するウィンドウを開きます。 RAAS Client。
- **出口:** 閉まる RAAS Client。

コンテキストメニューには、有効なサーバーごとに1つのサブメニューがあります。サーバー名の前に赤い丸が表示されている場合はサーバーがオフラインであることを示し、黄色の丸が表示されている場合はサーバーが利用可能であることを示し、緑の丸が表示されている場合は RemoteApp経由でサーバーに接続されていることを示します。

サーバーサブコンテキストメニュー:

- **接続:** RemoteApp を介してサーバーへの接続を作成します。
- **切断:** サーバーを RemoteApp から切断します。

- **再接続:** RemoteApp 接続をサーバーに再接続します。
- **ログオフ:** 現在ログインしているユーザーをサーバーからログアウトします。このオプションは、RAAS Client ローカルマシンから。
- **再起動:** サーバーを再起動します。
- **ショートカットの更新:** サーバーからすべてのリモートショートカットを更新します。Windowsアプリのショートカットをインストールする場合は、このアクションが必要です。
- **リモートデスクトップ:** 「RAAS Client サーバーを選択した状態で「リモート デスクトップ」アプリケーションを起動します。
- **RAAS Server Configuration:** 開く "RAAS Server Configuration" サーバーを選択したアプリケーション。

1.4 RAAS Client ファイルエクスプローラー拡張機能

シェル名前空間拡張がインストールされている場合 RAAS Client, ファイルエクスプローラーに「RAAS Clientファイル エクスプローラーのルート レベルのツリー ビューで、" が表示されます。このセクションは、設定でファイル エクスプローラー拡張機能が有効になっている各サーバーのファイルとフォルダーを処理するために使用できます。ファイル エクスプローラーでのファイルとフォルダーの通常の処理と同じように機能するように設計されていますが、このセクションで説明するいくつかの追加オプションがあります。

サーバーを右クリック:

- **リモートデスクトップ:** "RAAS Client Remote Desktop" サーバーを選択したアプリケーション。
- **RAAS Server Configuration:** 開く "RAAS Server Configuration" サーバーを選択したアプリケーション。

ファイルを右クリック:

- **リモート ホストで開く:** RemoteApp を介してリモート ホスト上のファイルを開きます。
- **リモートショートカットを作成:** 起動時にRemoteApp経由でサーバー上のファイルを起動するショートカットを作成します。ファイルは現在のフォルダに作成されます。

ファイルを右クリックし、離す前に別の場所にドラッグします。

- **ここにリモートショートカットを作成:** RemoteAppを起動すると、サーバー上のファイルをリモートアプリケーション経由で起動するショートカットを作成します。ファイルは、ドラッグした場所に作成されます。

1.5 RAAS Client Remote Desktop

"RAAS Client Remote Desktop" ファイルエクスプローラー拡張機能でサーバーを右クリックして「リモートデスクトップ」を選択するか、RAAS Client システムトレイのアイコンをクリックし、ルートメニューまたはサーバーメニューのいずれかで「リモートデスクトップ」を選択します。これは、保存された認証情報を使用してリモートデスクトップでサーバーに接続するために使用します。認証情報は、RAAS Server Configuration。

- **サーバー:** リモート デスクトップを使用して接続するサーバーを選択します。

設定:

- **RDP 認証:** RDP プロトコルを使用してリモート デスクトップ経由でサーバーに接続するとき
に使用する認証ルールを決定します。
- **クリップボードのリダイレクト:** クリップボードのリダイレクトをオンにするかオフにするか
を決定します。
- **デバイスのリダイレクト:** デバイスをリダイレクトするかどうかを決定します。このオプシ
ョンを使用するには、Microsoft が公開している追加設定を有効にする必要があります。
- **プリンターのリダイレクト:** プリンターのリダイレクトをオンにするかオフにするかを決定し
ます。
- **フルスクリーン:** リモート デスクトップをフルスクリーン モードで起動するかどうかを決定
します。
- **接続バー:** フルスクリーン モードで接続バーを表示するかどうかを決定します。
- **接続バーをピン留め:** 接続バーを最初にピン留めするかどうかを決定します。
- **デスクトップ幅:** リモート デスクトップ セッションのデスクトップ幅を決定します。
- **デスクトップの高さ:** リモート デスクトップ セッションのデスクトップの高さを決定しま
す。

1.6 Search & Run

Search & Run サーバーにインストールされているアプリケーションを簡単に検索し、実行する
ことができます。サーバーにインストールされていますが、RemoteAppアプリケーションとして使
用されることを目的としています。 RAAS Client クライアントコンピュータ上で、Windows
Searchの代わりとして機能します。Windows Searchは、 RAAS Client. ファイルの検索は、検索フ
ィールドに指定された文字列で始まるファイルを検索することによって実行されます。文字列内
の「*」は任意の文字列に一致し、文字列内の「?」は任意の文字に一致します。

2 RAAS Server

サーバーやホストコンピュータを制御するために、 RAAS Client 、 RAAS Server ホストコンピュ
ーターにインストールする必要があります。

2.1 インストール

RAAS Server RAASServer_[version]_x64.msiをサーバーまたはホストコンピューターにダウンロー
ドし、ファイルを開くことでインストールされます。デフォルトのインストールで十分な場合
は、ライセンス契約に同意してインストールを実行するだけで済みます。

使用するために RAAS Server から RAAS Client コンピューターにプログラムをインストールした
ら、RemoteApp 経由でサーバーを制御するユーザーでデスクトップ インターフェイスから 1 回
ログインする必要があります。

システム要件: Windows 10、11 Pro、Enterprise の 64 ビット バージョンと Windows Server RDS
をサポートします。.NET Framework 4.8 と .NET 8 の両方が必要です。

2.1.1 詳細設定

デフォルトのインストールが不十分な場合は、インストール時に「詳細設定」ボタンをクリック
してカスタマイズできます。このセクションでは、インターフェース上で機能を有効化または無
効化することで、インストールする機能を選択できます。機能を選択すると、コントロールを含
むボックスの下に表示されます。

- RDSアクセス用にWindows Serverにインストールする場合は、RDSクライアントからサーバーを再起動する機能を無効にすることをお勧めします。これは、インストール時に「詳細設定」ボタンをクリックし、「再起動可能」という機能で「すべての機能が利用できなくなります」を選択することで設定できます。

2.2 推奨されるWindows構成

- サーバー上のコンピュータ共有へのパスワード保護された認証を許可して、RAAS Client クライアントコンピュータ上のファイルエクスプローラー拡張機能。サーバー上のコンピュータ共有にパスワード保護された認証を提供するためのドキュメントは、Microsoftによって提供されています。
- 無効にすることをお勧めします User Account Control(UAC)をサーバーにインストールして、サーバーにプログラムをインストールできるようにする RAAS Client リモート アプリ。 User Account Control 権限昇格はサポートされていません RAAS Client RemoteApp。無効にするためのドキュメント User Account Control Microsoft によって提供されます。
- Microsoft RemoteAppが動作するには、サーバー上でリモートデスクトップ接続を許可する必要があります。RAAS Client。
- RAAS Client 通信する RAAS Server ポート43000を経由する場合、このポートをファイアウォールで許可する必要があります。Windowsファイアウォールのエントリは、インストール時に自動的に作成されます。RAAS Server。
- ショートカットを作成するには、RemoteApp 経由でサーバーを制御するユーザーでサーバーに最初に接続する必要があります。
- 接続バーと一緒に使用する場合は RAAS Clientマルチタスク設定の「ウィンドウを画面上部にドラッグしたときにスナップレイアウトを表示する」を無効にすることをお勧めします。これはWindowsのシステム設定からアクセスできます。この機能は、RAAS Client 同時に使用する場合の接続バー。これを変更すると、リモートアプリケーションがよりスムーズに動作します。

2.3 Search & Run

Search & Run サーバーにインストールされているアプリケーションを簡単に検索し、実行することができます。サーバーにインストールされていますが、RemoteAppアプリケーションとして使用されることを目的としています。RAAS Client クライアントコンピュータ上で、Windows Searchの代わりとして機能します。Windows Searchは、RAAS Client. ファイルの検索は、検索フィールドに指定された文字列で始まるファイルを検索することによって実行されます。文字列内の「*」は任意の文字列に一致し、文字列内の「?」は任意の文字に一致します。

3 バージョン管理

新しいバージョンの RAAS Client そして RAAS Server GitHub のバージョン タグに対応する同じバージョン番号で同時に公開する必要があります。RAAS Client そして RAAS Server メジャー バージョン番号 (つまりファイル名の最初の数字) が同じである限り、互換性があるはずです。

4 サポート

4.1 よくある問題

Windowsによってネットワークの場所がクイックアクセスに自動的に追加されるため、ファイルエクスプローラーの起動に時間がかかる場合があります。その場合、ネットワークの場所にアクセスできない場合に問題が発生します。

- 解決するには: ファイル エクスプローラー設定の開く場所を「ホーム」から「この PC」に変更します。